

防火区画貫通部におけるパテの使用 方法 (製品別用途)



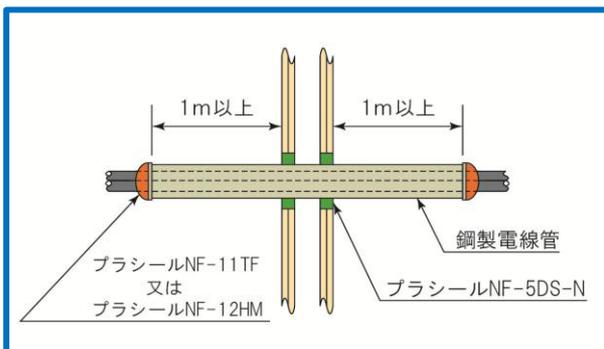
日東化成工業株式会社

用 途

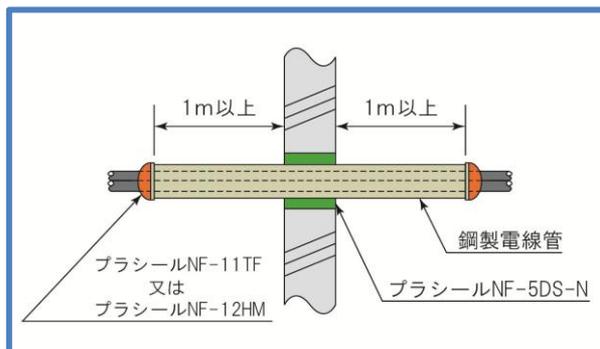
使用製品		プラシール NF-5DS-N	プラシール NF-11TF	プラシール NF-12HM
製品写真				
貫通部材	ケーブル直配線 (PF管、CD管を含む)	使用出来ません	使用可能	
	鋼製電線管配線 【使用条件】	使用可能 【両側 1 m以上突出し】	使用可能 【管の全長 = 200 mm以上】	
	不燃性配管 (鋼管等)	使用可能	使用出来ません	
	可燃性配管 (塩ビ管、被覆銅管等)	誠に申し訳ございませんが、弊社製品では対応出来ません。 大臣認定工法取得社の工法で施工して下さい。		

ブラシールNF-5DS-Nが使用可能な電気配線の方法

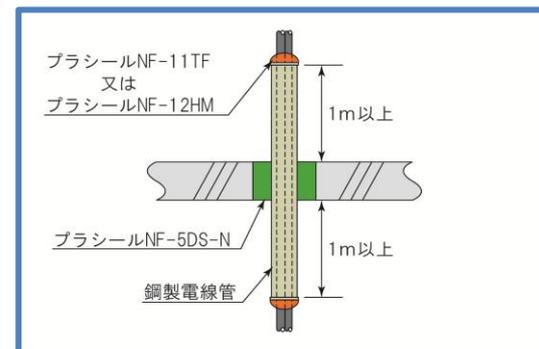
【中空壁】



【コンクリート・ALC 壁】



【コンクリート・ALC 床】



【施工条件】

- 防火区画の壁もしくは床の表面から鋼製電線管が両側とも1m以上突出されていること

【建築基準法施行令第129条の2の5第1項第七号イ】

※鋼製電線管の長さが1m未満の場合は国土交通大臣認定工法による施工が必要となります。

【施工方法】

- 鋼製電線管と開口部の隙間

→ブラシールNF-5DS-N等の不燃材料で埋め戻す

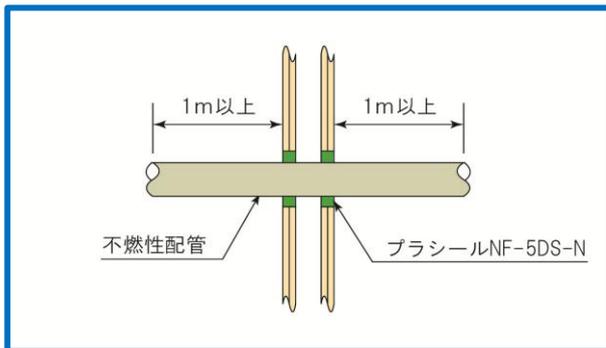
- 鋼製電線管の両端部

→ブラシールNF-11TF又はブラシールNF-12HM等の耐熱シール材等を充填する

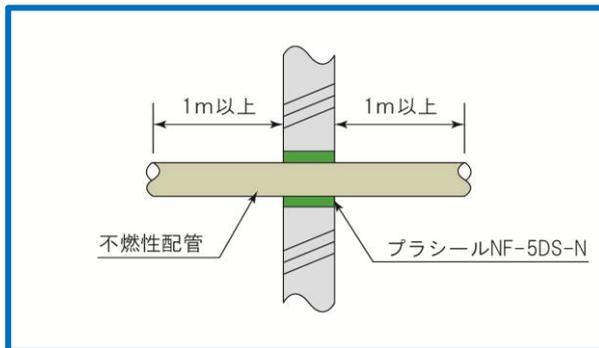
※上記以外の製品を使用される場合は所轄の行政機関等に確認して下さい。

プラシールNF-5DS-Nが使用可能な**不燃性配管**の方法

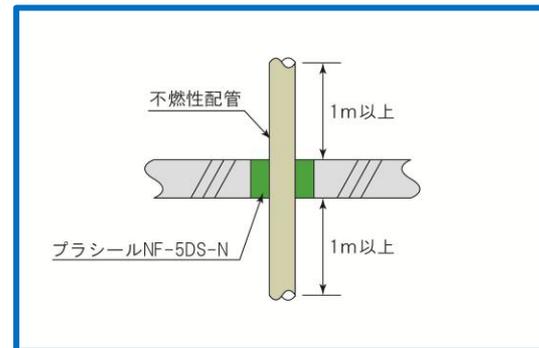
【中空壁】



【コンクリート・ALC 壁】



【コンクリート・ALC 床】



【施工条件】

○防火区画の壁もしくは床を貫通する配管は、**不燃材料**であること【建築基準法施行令第129条の2の5第1項第七号イ】

※**難燃性配管及び可燃性配管**の場合は使用出来ません

【施工方法】

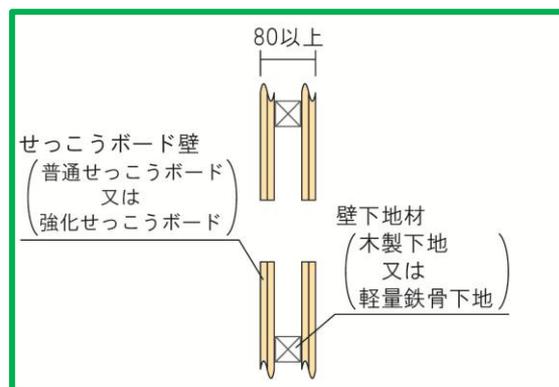
○不燃性配管と開口部の隙間

→**プラシールNF-5DS-N**等の不燃材料で埋め戻す

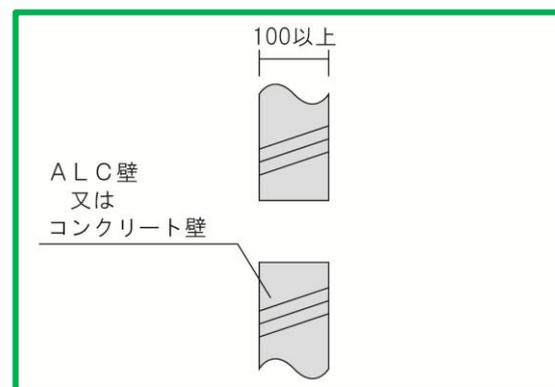
ケーブルが貫通する**構造体**を選択してください

ケーブル、P F管、C D管 直配線 (プラシール**NF-11TF**及び**NF-12HM**)

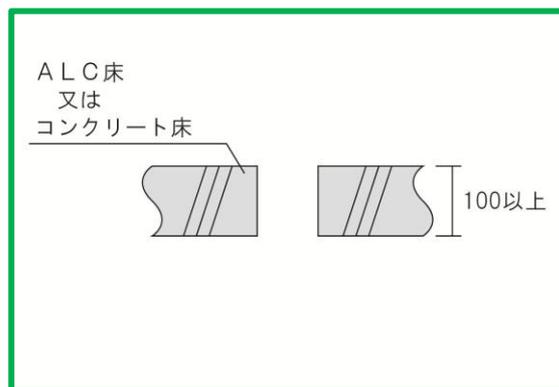
【中空壁】



【ALC・コンクリート壁】



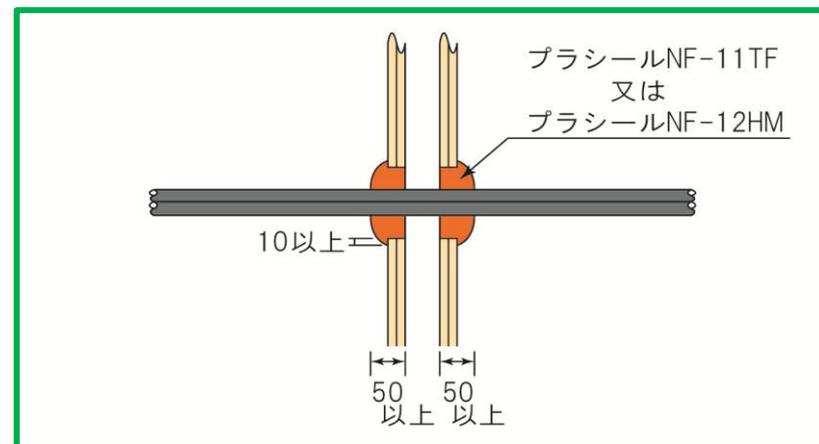
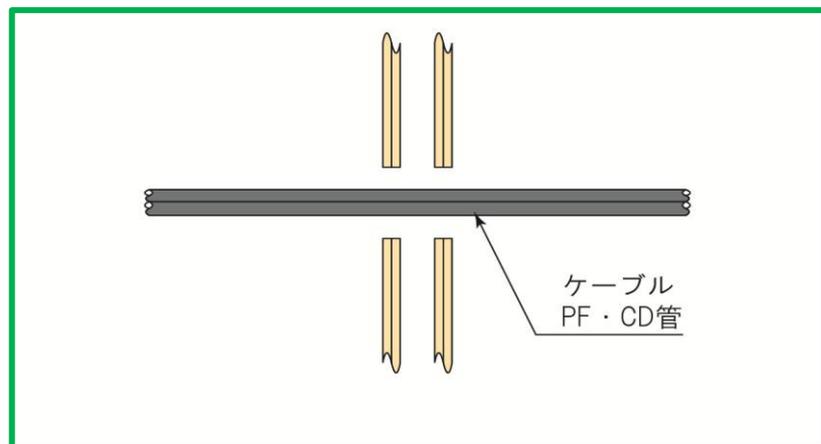
【ALC・コンクリート床】



その他の構造体

直配線の場合の施工方法

【中空壁（石膏ボード）壁の場合】



【施工方法】

○延焼防止措置

1. せっこうボードの奥面から**プラシールNF-11TF** 又は **プラシールNF-12HM**のいずれかを充填する
(両面とも50mm厚以上の充填厚さ及び
開口部周囲に10mm幅以上の被りをとる)

【国土交通大臣認定工法】

PS060WL-0574 : **プラシールNF-11TF**
PS060WL-0575 : **プラシールNF-12HM**

丸穴開口のみの適用となります

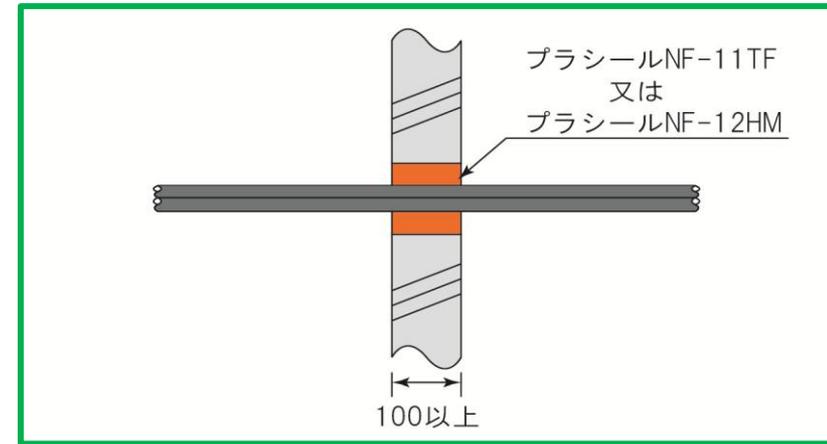
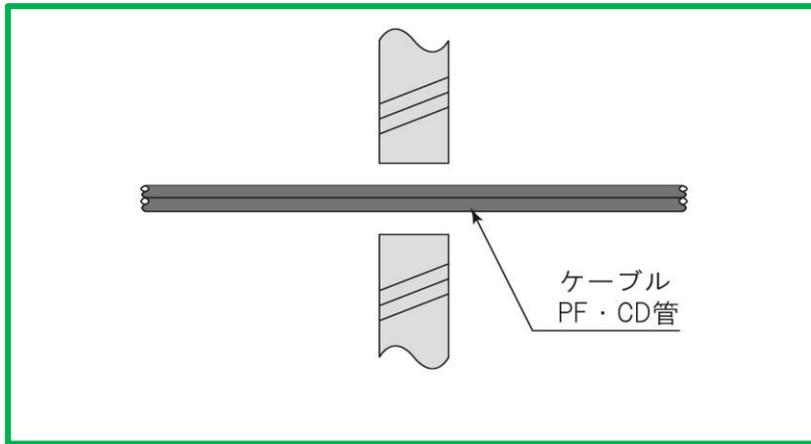
詳細はカタログ又は認定書をご確認下さい

【関連法令】

建築基準法施行令 第129条2の5第1項第七号八

直配線の場合の施工方法

【ALC壁・コンクリート壁の場合】



【施工方法】

○延焼防止措置

1. プラシールNF-11TF又はプラシールNF-12HMのいずれかを充填する（100mm厚以上）

【国土交通大臣認定工法】

PS060WL-0583 : プラシールNF-11TF
PS060WL-0582 : プラシールNF-12HM

丸穴開口のみの適用となります

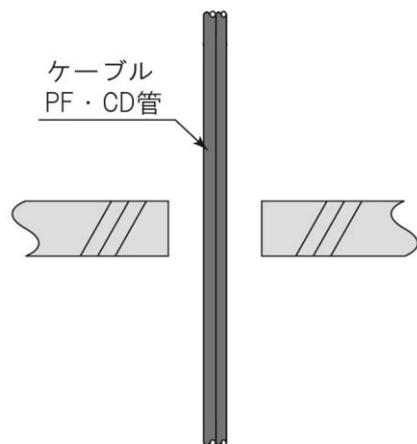
詳細はカタログ又は認定書をご確認下さい

【関連法令】

建築基準法施行令 第129条2の5第1項第七号八

直配線の場合の施工方法

【ALC床・コンクリート床の場合】



ブラシールNF-11TF
又は
ブラシールNF-12HM

充填補助金具

70以上

【施工方法】

○延焼防止措置

1. 床上側から充填補助金具（C-7H、CS-7H、FA-7H×2本（φ75未満時）のうちいずれか）を設置する
2. 床上側からブラシールNF-11TF又はブラシールNF-12HMのいずれかを充填する（70mm厚以上）

【国土交通大臣認定工法】

PS060FL-0584 : **ブラシールNF-11TF**
PS060FL-0585 : **ブラシールNF-12HM**

丸穴開口のみの適用となります

詳細はカタログ又は認定書をご確認下さい

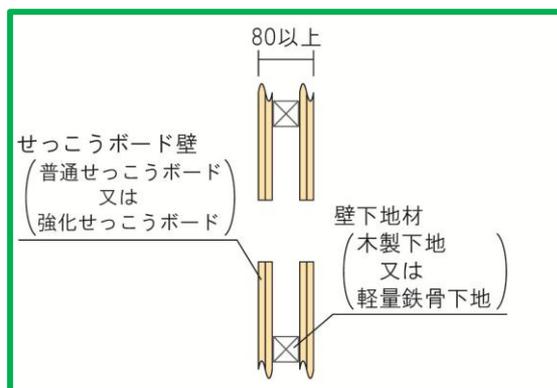
【関連法令】

建築基準法施行令 第129条2の5第1項第七号八

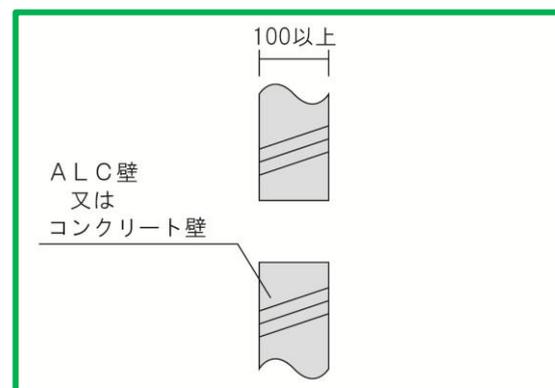
ケーブルが貫通する**構造体**を選択してください

ケーブル、P F管、C D管 鋼製電線管配線 (プラシール**NF-11TF**及び**NF-12HM**)

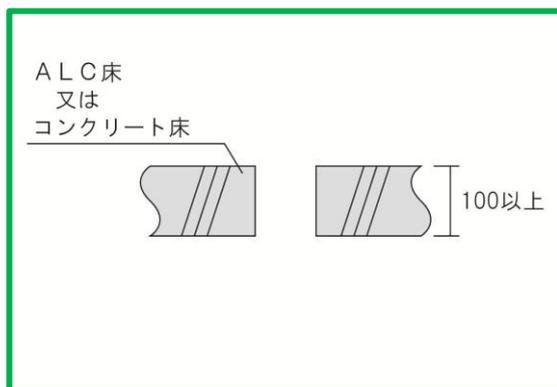
【中空壁】



【ALC・コンクリート壁】



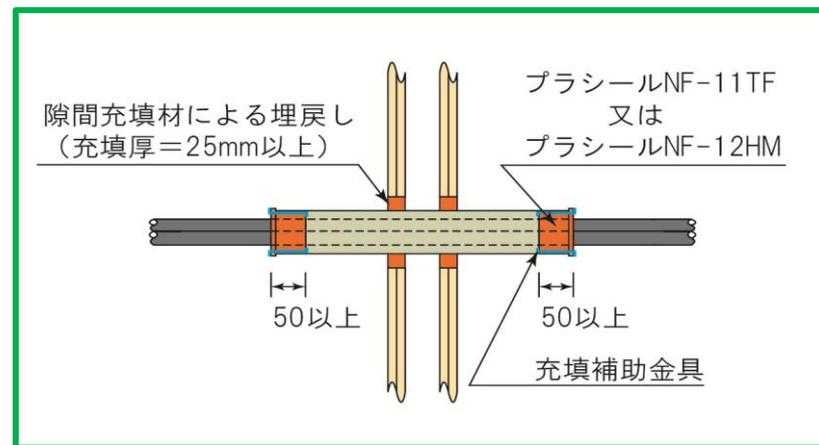
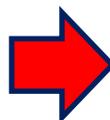
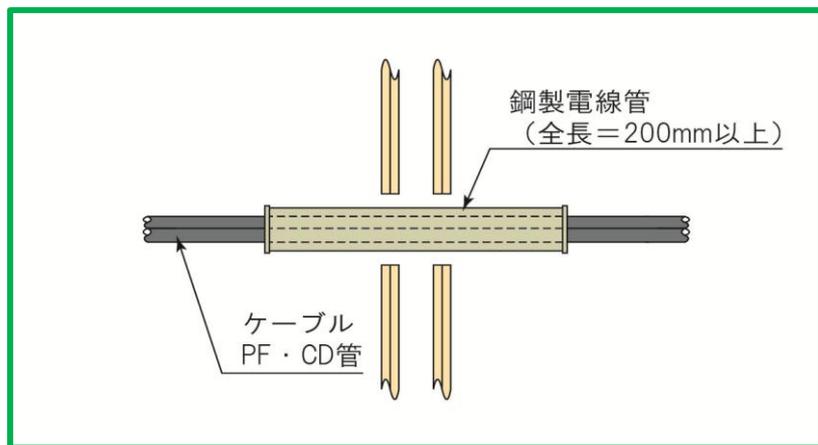
【ALC・コンクリート床】



その他の構造体

鋼製電線管配線（管の全長 = 200mm以上）の場合の施工方法

【中空壁（せっこうボード）の場合】



【施工方法】

○鋼製電線管と開口部の隙間

- ① **プラシールNF-11TF** ② **プラシールNF-12HM**
 ③ モルタル ④ コンクリートのいずれかで埋め戻す

○延焼防止措置

1. 管の両端に充填補助金具 (**FA-5H**) を設置
2. 管の両端に**プラシールNF-11TF**又は
プラシールNF-12HMのいずれかを充填する
(各50mm厚以上)

【国土交通大臣認定工法】

- PS060WL-0574 : **プラシールNF-11TF**
 PS060WL-0575 : **プラシールNF-12HM**

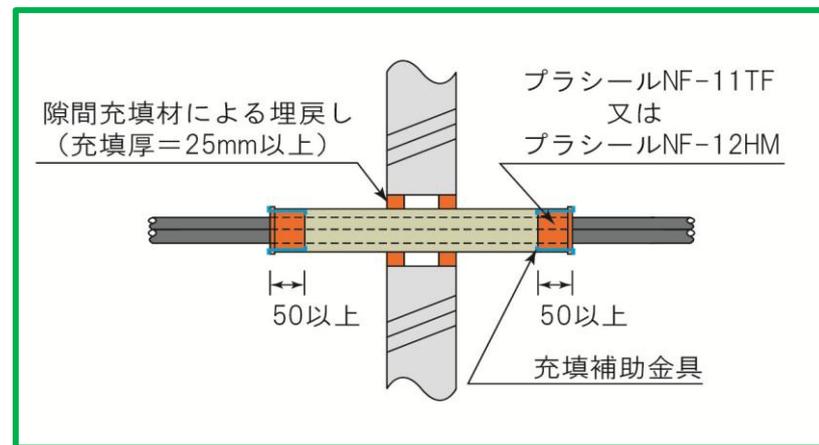
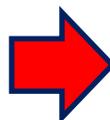
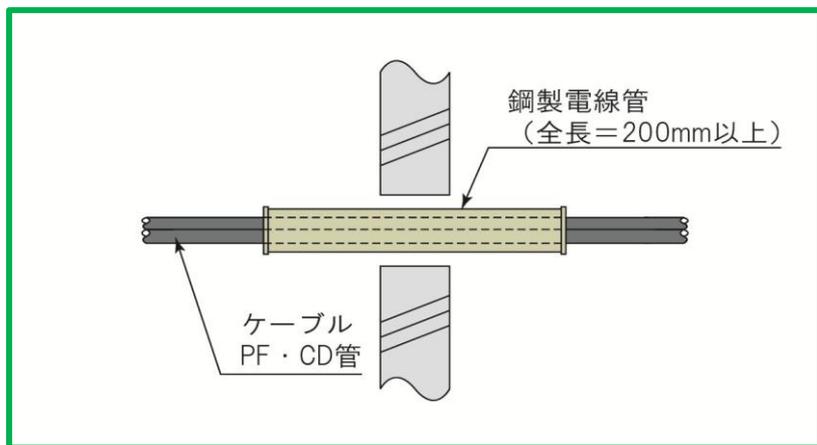
丸穴開口のみの適用となります
 詳細はカタログ又は認定書をご確認下さい

【関連法令】

建築基準法施行令 第129条2の5第1項第七号八

鋼製電線管配線（管の全長 = 200mm以上）の場合の施工方法

【ALC壁・コンクリート壁の場合】



【施工方法】

○鋼製電線管と開口部の隙間

- ①プラシールNF-11TF ②プラシールNF-12HM
③モルタル ④コンクリートのいずれかで埋め戻す

○延焼防止措置

1. 管の両端に充填補助金具 (FA-5H) を設置
2. 管の両端にプラシールNF-11TF又は
プラシールNF-12HMのいずれかを充填する
(各50mm厚以上)

【国土交通大臣認定工法】

- PS060WL-0574 : プラシールNF-11TF
PS060WL-0575 : プラシールNF-12HM

丸穴開口のみの適用となります

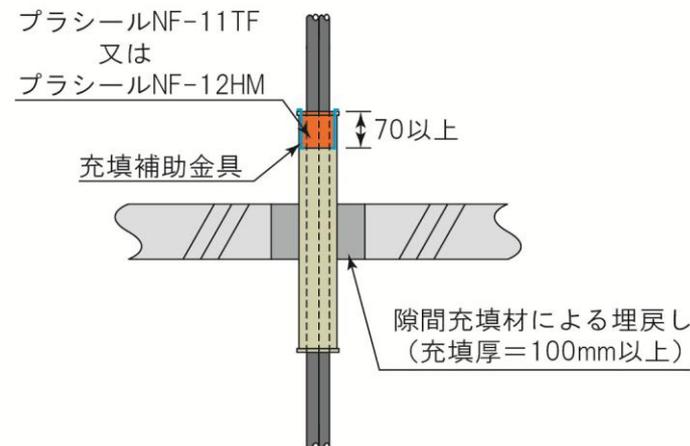
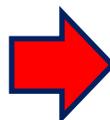
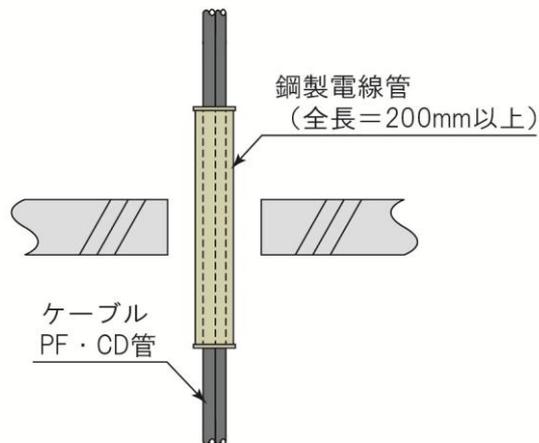
詳細はカタログ又は認定書をご確認下さい

【関連法令】

建築基準法施行令 第129条2の5第1項第七号ハ

鋼製電線管配線（管の全長 = 200mm以上）の場合の施工方法

【ALC床・コンクリート床の場合】



【施工方法】

○鋼製電線管と開口部の隙間

- ①モルタル ②コンクリートのいずれかで埋め戻す

○延焼防止措置

1. 管の上側から充填補助金具（**C-7H**、**CS-7H**、**FA-7H×2本**のうちいずれか）を設置する
2. 管の上側から**プラシールNF-11TF**又は**プラシールNF-12HM**のいずれかを充填する（70mm厚以上）

【国土交通大臣認定工法】

- PS060FL-0584 : **プラシールNF-11TF**
PS060FL-0585 : **プラシールNF-12HM**

丸穴開口のみの適用となります

詳細はカタログ又は認定書をご確認下さい

【関連法令】

建築基準法施行令 第129条2の5第1項第七号ハ

その他の構造体

誠に申し訳ございませんが、弊社では大臣認定工法を取得していないため対応出来ません。

法令上、下記のいずれかの措置が必要となります。

- ①貫通する部分から1m以内の距離にある部分を不燃材料（不燃性配管等）で造る。
【建築基準法施行令第129条の2の5第1項第七号イ】

不燃性配管等と開口部の隙間は、**プラシールNF-5DS-N**等の不燃材料で埋める。
【建築基準法施行令第112条15項、建設省告示第1378号、第1385号等】

- ②大臣認定工法取得社の工法で施工を行う。【建築基準法施行令第129条の2の5第1項第七号ハ】